

令和4年度 第2回 大和中学校 学校運営協議会

令和5年2月15日(水)
大和中学校 会議室 19時~20時
進行 鷲見副会長

1 会長挨拶

2 学校長挨拶

3 議事

(1) 今年度の学校教育活動の成果と課題について …教頭・清水から

(2) 来年度の活動と「やまとの日」について …清水から

(3) 来年度の協議会委員について …教頭から
※大和中学校運営協議会設置規則に基づいて

【 大和中学校の教育の目的 】

自立 ・ 共生

(主体的に生活を拓き、互いを理解し合い共に生きる地域社会人の育成)

【 大和中学校の教育目標 】

- ・ 自ら考え取り組む生徒
- ・ 自他を思いやり行動する生徒

【 経営方針 】

- 1 「地域が誇れる大和中」を合言葉に、生徒も教職員も共に考え実践する学校づくり
- 2 学校運営協議会を要にした保護者・地域と共にある学校づくり
- 3 「何のために」を常に考え実践する学校づくり
- 4 職員の持ち味と、職員集団の共通実践を大切にした働きがいのある学校づくり

【 重点と実現にむけた具体的方途 】

自ら考え取り組む生徒	自他を思いやり行動する生徒
<p>【重点①】主体的、対話的で、見方・考え方を広げ深めることができる授業づくり (学習課題の提示がない授業、教師と生徒の一问一答で進む授業、教師が一方向的にまとめる授業ゼロ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 興味ややってみようという気持ちを引き出し、解決の見通しが持てる導入・学習課題の工夫 ○ 主体的に取り組む学習活動の工夫 (ICTを活用した学習活動も含む) ・ 定着状況や、見方・考え方の変容を見届ける方法の工夫 	<p>【重点④】自他を大切にし、違いを認め、思いやる心を育てる人権教育、「命の教育」の推進 (いじめゼロ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 他を思う心の表れとしての「あいさつ」の啓発 ○ 「ひまわり宣言」を題材とした生徒集会の実施 ・ 決めつけた見方などいじめの芽となる言動を見逃さず指導の機会とする即時指導 ・ 学級活動、保健体育・家庭科の授業を中心とした学校の教育活動全体を通じた「命の教育」の推進
<p>【重点②】自分から取り組み、自己有用感を高めることができる校内、身近な地域でのボランティア活動の奨励 (全生徒が年間少なくとも1つはボランティア活動を行う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会を中心としたボランティア活動の充実 (「やまの日の」改善、地域行事への参加) ○ 地域と連携したボランティア活動の位置づけ・価値付け (評価) の充実 → 「ボランティア・パスポート」の活用の工夫 (定期的な記入と見届け・評価の工夫、中間の振り返り等) ・ 地域の自治会、公民館、関係機関、関係団体と連携した活躍機会の創出 <p>【重点③】望ましい集団活動を通して、集団や自己の課題を見つめ解決する学級活動、生徒会活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事を核とした個と集団の指導の工夫 ※(3・4節)「めざす自分」の取組とのリンク ・ 年間を4期 (安心・協力ー団結ー挑戦ー自立) に分けた段階的な集団と個の指導の充実 ○ 自己を見つめ磨く「創自」(掃除) 指導の充実 	

【 職員の共通実践 】

【 評価 】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒に付き、事実とその心の有り様を観て、「位置づけ・価値付け・方向付け」することで、一人一人の自己有用感・自己肯定感を高める。 ・ 問題行動等について、報告、連絡、相談により組織で対応する。(チーム大和) ・ 自己の働き方を見つめ優先順位を考えて取り組み、心身共に健康で、笑顔で生徒の前に立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国学力・学習状況調査結果の分析 ・ 生徒アンケート (生活、授業) ・ キャリア・パスポートの見届けと蓄積 ・ ボランティア・パスポートの記入と価値づけ ・ 教育活動についての自校評価アンケート (職員・生徒・保護者) → 学校運営協議会による学校関係者評価
---	---

地域に息づく大和中

自立・共生

自ら考え取り組む 自他を思いやり行動する



【重点①】

主体的、対話的で、見方・考え方を広げ深めることができる授業づくり
 ○主体的に取り組む学習活動の充実(ICTを活用した学習活動を含む)

◇主体的・対話的「工夫して発表」
 8.6%
 県▲15.9国▲12.4
 「自分で考え自分で」
 17.2%
 県▲22.3国▲16.3

学習

◇国語好き
 1.7%
 県▲17.9国▲21.8
 ◇数学好き
 15.5%
 県▲15.5国▲15.7

生活

【重点③】

望ましい集団活動を通して、集団や自己の課題を見つめ解決する学級活動、生徒会活動の充実
 ○「めざす自分」の取組(3、4節)
 ○掃除(=創自)指導の充実

○教師が話しすぎない
 ○生徒の課題意識

◇自己実現力
 ◇自己肯定感
 ◇「将来の夢や目標」
 24.1%
 県▲17.9国▲16.4

行事

命の命 心の命

【重点④】

自他を大切にし、違いを認め、思いやりを育てる人権教育、「ぎふいのちの教育」「郡上市命の教育カリキュラム」に基づく「命の教育」の推進
 ○相手を思いあひさつの啓発
 ○「ひまわり宣言」に関わる取組

やまとの日 9月25日(日)

ひまわり満開Project
 地域行事への参加

体験

○願いの成就・達成
 ○自己決定の場



ボランティア

○周りだけでなく自己への視点

【重点②】

自分から取り組み、自己有用感を高めることができる校内、地域のボランティア活動の奨励
 ○生徒会の活動として
 ○「やまとの日」の取組の改善
 ○記入・評価の工夫(パスポート)

◇自己肯定感
 「自分によいところ」
 27.6%
 県▲10.0国▲6.9

よりよく生きる 価値づけ



◇自己肯定感
 「いじめはいけない」
 86.2%
 県▲3.7国▲4.8

○運協・地域の学校の経営参画推進



職員による今年度の学校評価から、次年度に向けて検討していること

○学習指導部

- 学び合うことに喜びを感じられる集団づくり
- タブレットの利用方法・活用方法のあり方
- 情報モラル(SNS)指導の在り方
- 一年間のボランティア活動洗い出し
- SDGs 学習の教育課程への位置づけ
- 図書館の利活用
- 短歌教育

○生活指導部会

- 安心できる大和中の生活の職員共通理解
- あたたかい言葉であふれる大和中づくり
- 創自指導の在り方(自分を見つめるための活動として)
- アンケートの実施時期・回数・内容・方法

○特活指導部会

- 生徒会活動
 - ・ひまわり宣言、ひまわり集会を核とした「命の教育」の浸透
 - ・生徒会組織再編に向けて(「伝統」「あじみ」の再構築)※大和中の核となる活動創設
 - ・生徒の意識の流れを大切にしたい行事・キャンペーン・委員会活動の流れ
(同時期に二つ以上のキャンペーンを行わない)
- キャリア教育
 - ・キャリアパスポートの内容
 - ・R5 勤労体験学習実施方法
- 部活動の自主練あり方

○ボランティア活動

- 来年は各学年に1名ずつ担当を
- ボランティア活動1年間の洗い出し(対外的なもの)

○研究推進

- 「主体的に取り組む・・・」評価の在り方
- 研究主題と研究内容
- 研究会の持ち方

○特別支援委員会

- 特別支援学級の一日の過ごし方
- 年度当初、全校への周知方法
- T2の在り方

○教務会

- 来年度の「やまとの日」実施方法
- 前期下校時刻・日課(部活動の確保)

中まるっと大和中

大和中学校だより

No. 9



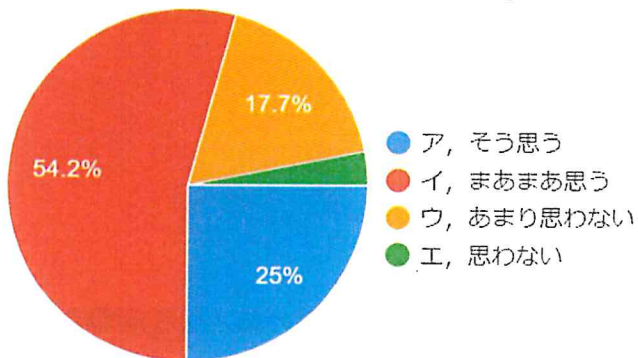
「地域が誇れる大和中」 「地域とつながる大和中」

令和4年12月23日

教育アンケートありがとうございました

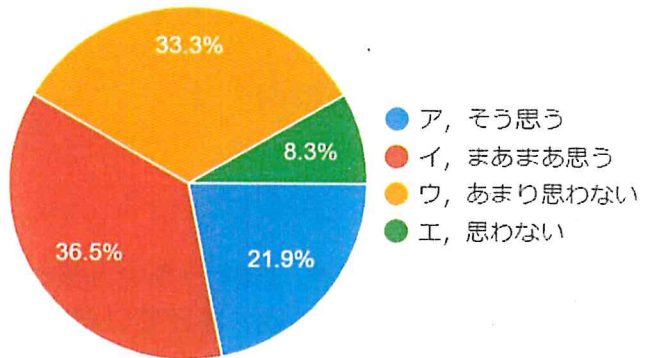
質問1

お子様は、学習や生活に対して、自ら考え取り組んでいると思えますか。



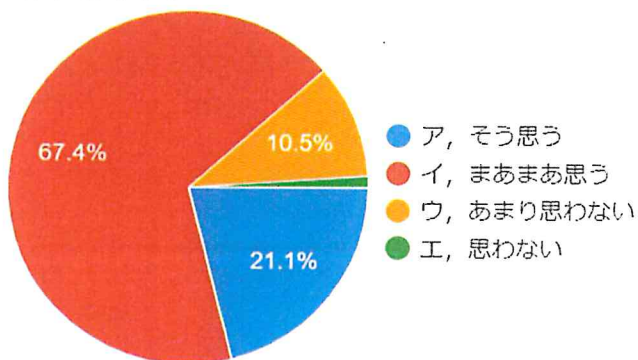
質問4

お子様は、地域の行事や活動・ボランティア活動などに参加していると思えますか。



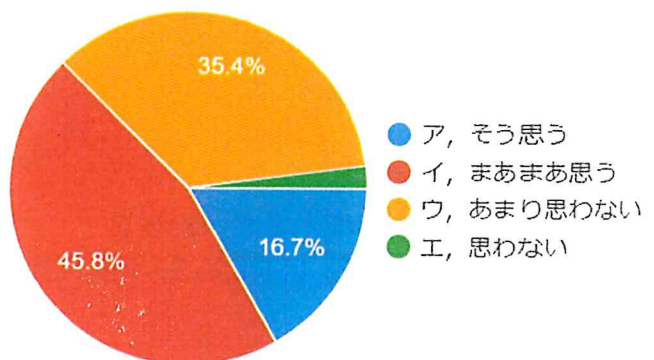
質問2

ご家庭では、お子様と、学習や生活に自ら考え取り組むことについて話をしていると思えますか。



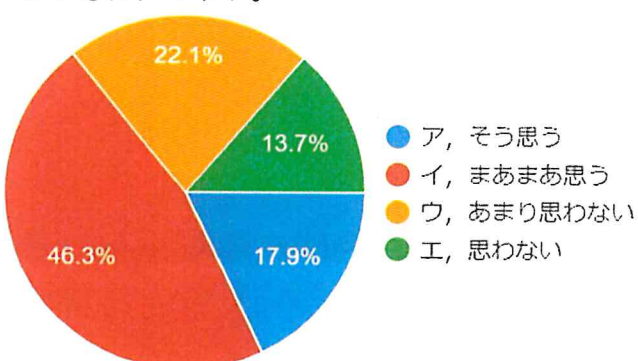
質問5

ご家庭では、お子様と、地域の行事やボランティア活動への参加について話をしていると思えますか。



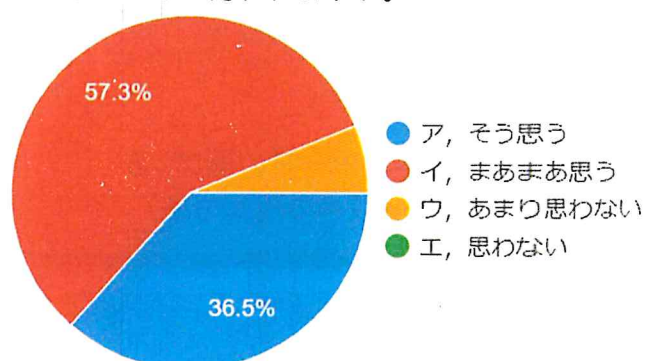
質問3

お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていると思えますか。



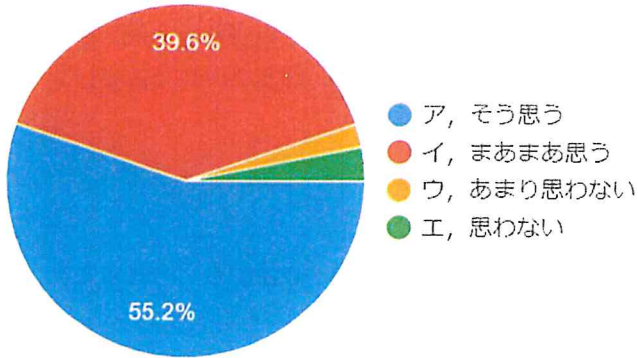
質問6

お子様は、家庭や地域で、「あいさつ」ができていていると思えますか。



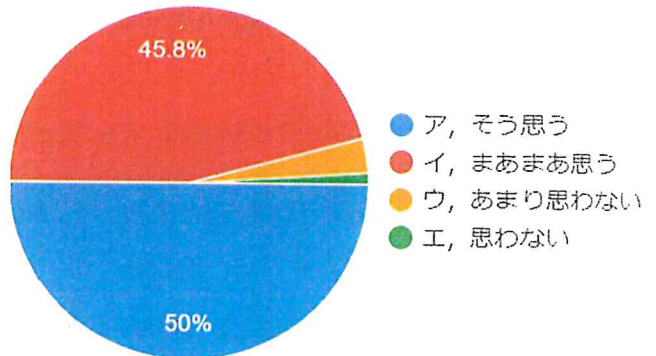
質問7

ご家庭では、親子で「あいさつ」をしていると思われませんか。



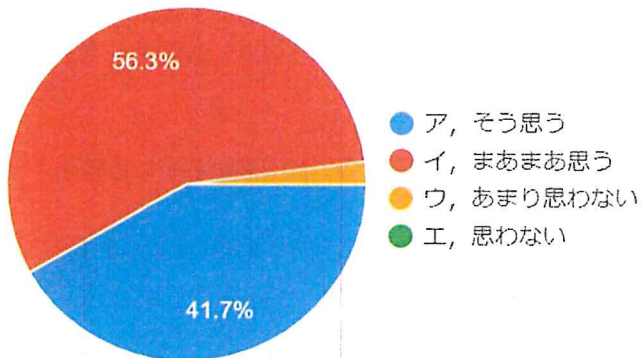
質問9

ご家庭では、いじめをしないこと、見て見ぬふりをしないことなど、いじめは許されないことについて話をしていると思われませんか。



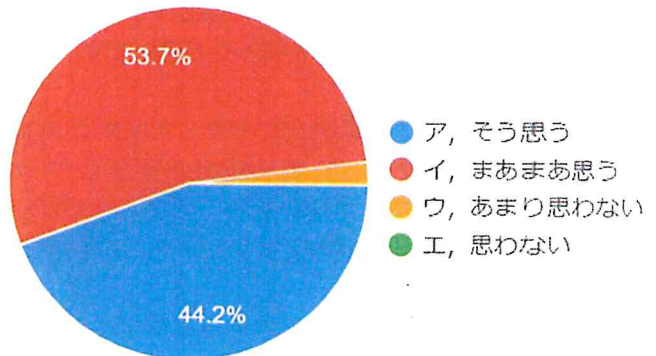
質問8

お子様は、自他を大切にし、違いを認め、思いやる心が身に付いていると思われませんか。



質問10

ご家庭では、お子さんが困ったときに、相談にのっていると思われませんか。



「そう思う・まあまあ思う」の合計の割合 (%) から

「親子であいさつをしている…94.8%」「ご家庭でいじめは許されないこと等について話をしている…95.8%」「ご家庭でお子さんの相談にのっている…97.9%」のように、大変多くのご家庭において、礼節や規範に関わり、お子さんと一緒に考え、温かくご支援いただいていることがよくわかります。

「家庭学習の習慣が身に付いている…64.2%」「地域の行事や活動・ボランティア活動などに参加している…58.4%」「お子様と地域の行事やボランティア活動への参加について話をしている…62.5%」のように、家庭での学習の習慣や内容・方法等については、今後学校でもより充実した支援ができるように検討していきます。また、地域の行事や活動・ボランティア活動などへの意識や考えについても、生徒会執行部や地域リーダーを中心に積極的に取り組んではいますが、さらに充実できるように、生徒も教職員も励んでいきます。

大変お忙しい中、アンケートへのご回答、ありがとうございます。いよいよ、「自立」に向けた新年を迎えますが、お子さんが安心・安全で達成感・満足感を感じ、成長した喜びを味わえることできるよう努力していきます。



◇「地域に息づく大和中学校」づくりについて、ご家庭でできる取組は、何ができそうだと思いますか。

●挨拶

…地域の方々に向けて。家族以外の人に向けて。親も子も。思春期ではありますが、挨拶やなるべく会話をするように心がける事が大切だと思います。誰に対しても挨拶は大切だと思います。顔見知りになる事は犯罪防止にもなります。

●会話

…日常の会話で地域のことを話題にする。親がやっていることを話題にする。

●温かい言葉の掛け合い

…親子での取り組みが必要だが、環境づくりは大切。地域の人にも自然と温かい言葉がかけられる元になると思う。

●生活

…生活上でのルールを守ること、周りの人達を大切にできること。基本的なことが当たり前でできることが地域から認められて子ども達も生き生きと生活できると思う。健全で温かい心をもった中学生を育てることが、地域に誇れる中学校づくりに繋がると思うので、基本的な「早寝、早起き」や「朝ごはんは必ず食べよう」や「1日1食は子どもだけの孤食にならないようにしよう」など、どの家庭でも無理しすぎずできることをスローガンとして定期的に取り組むのはどうでしょうか。大和全体でも取り組んでいることですが、定期的を意識して取り組み続けることは大切なと思います。

●家の手伝い

…継続や気づきや工夫などが少しでも身につけば、地域でも何か考えて動けることに繋がるかもと思う。親の見守り、褒めたりして、ありがたい言葉なども大切と思う。

●行事 …コロナ禍でなかなか見に行けないので何とか模索してほしい。→学校としてできる限り模索します。

●地域の美化運動 …地域の清掃活動やごみ拾いなど

●ボランティア活動

…家庭ではありませんが、力のある中学生が、高齢者の家庭の畑作りや農作業等の手伝いをするボランティア部ができたらいいなと思っています。近所は高齢者が多く若者の力が必要だと思います。近所の方々とのふれあう時間も中々なく、自然な形で一緒に作業が出来たら良いと思います。

●地域のイベントへの参加

…親しみや愛着を持てるよう地域の活動に参加する機会があれば声をかける。参加出来る地域行事や取り組みがある時の声かけや、その行事について関心を持てるように家庭で話をする。家族で参加する。中学生らしい姿で。地域の人達に、馴染んでいくといいのではと思います。みんなで盛り上げる。鮎かけ、キャンプのシーズンに、川沿いのゴミ拾いや川掃除等したり、自然を大切にマナーを守って楽しんでもらえるように呼びかける看板等を設置したりして、気持ちの良い環境を作っていく。地域の行事に親が参加する姿を見せ地域との繋がりの大切さを姿で伝える。家族以外の世代を超えた地域の方々と交流や対話する機会を増やす。地域の活動で手伝いができることへ一緒に参加をする事で、地域の方々に中学生がいることを分かっていたら、中学生が今こういう姿で頑張っているという事を伝えていけるかなと思います。日頃から話す内容として、今安心して不便無くこの地で暮らしているのは、人の手が加わってできているからということ。あたりまえではない。だからこそ地域の活動には積極的に参加して、できればその年代、学校のキーマンとして時代に合わせた価値観で貢献できるような、頼られる人になってほしいです。

●ひまわりの町やまと

…大和じゅうにひまわりを咲かせようプロジェクト! 大和中学校ひまわりプロジェクトの内容を紙面にしてひまわり種と一緒に地区の回覧板や広報と一緒にお配りし賛同頂ける方に咲かせてもらう。毎年繰り返す。



1. はじめに

本年度より、地域に住まう代表生徒を「地区リーダー」として公民館組織の中に位置づけていただきました。また、地域行事開催の折には、生徒が校外でも活躍する機会を多くご紹介いただきました。未だ終息の見えないコロナ禍において、こうした動きをつくることができたのは、地域の皆様のご理解とご協力あつてのことと、心より感謝申し上げます。本年度の成果や課題を捉え、次年度に生かしていくことが大切であると考えております。

引き続き、学校を核とした地域づくりの推進にお力添えのほど、宜しくお願い申し上げます。

2 1. 代表生徒の振り返り（抜粋）

<今年地区リーダーを経験して学んだこと>

- ・僕は、地区リーダーと言う活動を通して、地域の人との輪をより深めることができたし、公民館運営協議会に参加したときに、地域の人が温かく迎えてくれたことがすごく嬉しかったです。
- ・私は、部活の予定と重なることが多く、あまりボランティア活動には参加できませんでした。でも、「ふれあい祭り」に参加した人の話を聞くと、夜に集まったり、昼休みに集まったりすることは大変そうにみえたけど、「これもやったらいいんじゃない？」とか「地域の人とたくさん関わられた」とか話していて、すごくいいなあって思いました。来年は部活も引退して、きっと時間がつくれると思うので、今年の方も色々なボランティアに参加したいと思っています。
- ・企画するときに、会議に参加させてもらって、どうやって進めているのか、どういう雰囲気で行っているのかを勉強させていただきました。多くの時間をつかって計画した「やまとの日」は中止になってしまったけど、自分の意見が採用されたときは嬉しかったし、自分もちゃんと運営側にいるんだなと実感しました。
- ・1年に1回の大切な行事で、地域と関わることのできる大切な日だからこそ、直接地域の方々と話し合うことができたのは、よかったし、地域の方からしか聞くことのできない意見を聞いて、とても参考になりました。
- ・最初「地区リーダー」ってどんなものなんだろう？って思っていたけど、参加していくうちに、「地域のために何かしたい」という考え方ができるようになったり、地区の課題と向き合っ、どうしたら良くなるんだろうと解決策を考えたりできるようになった。
- ・今年、地区リーダーを経験させてもらって、たくさんの地域のボランティアに参加させてもらいました。私は最初、運営をすることは大変なことだと思っていました。でも、実際に最初から運営に携わってみると、最初思っていた「大変」とは違いました。大変さの中に、「楽しさと温かさ」があるとわかりました。参加した人にしか見られない景色をたくさん見せてもらいました。上手くいかないこともあったし、全てが「楽しい」とは思わないときもあったけど、この経験は、自分を成長させてくれる機会でした。

<来年に向けて引き継ぎたいこと・取り組んでみたいこと>

- ・「やまとの日」をwith コロナでも開催すること
 - ⇒自分たちで計画して地域の人と協力して何かを実行することがやりたい
 - ⇒西地区では、たくさんの方が楽しめる企画を考えていたので、来年も素敵な案が出ると思います。
- ・ボランティアの紹介
- ・地域の方の意見を聞くことができる場所をつくる、自分たちの意見を言うことができる場をつくる
 - ⇒集まったり、回覧板を活用したりする
- ・少ない人数でもいいから本気で「やりたい」と思える人たちでボランティアをした方がいい
- ・地区リーダーの中でも、代表者が中心になっていて、話し合った内容が他の子に伝わっていないことがあったので、共有できるようにしたい。
- ・1、2年生にも積極的に関わってもらえると、広い-7-でみることができ、よい意見も増えると思う。

やまとの日計画

- ねらい 「地域が誇れる大和中」を具現するため、「地域と繋がる日」になるように、大和中学の良さについて自ら考え、それを伝えるために積極的に活動し、**地域の方を思いやり、地域の良さに気付く機会**にすることが出来る。

自他を思いやり行動する生徒（思いやり）

自ら考え取り組む生徒（主体性）

■本年度行事について

- ① 「地区別やまとの日」 9月25日（日）⇒9月～11月の期間に、各地区が決定した期日（土日）で開催する。
- ② 「ひまわり満開 Project」 7月中旬開花予想
- ③ 「既存の地域行事への参加奨励」←生徒会発信で参加者募集（これも「やまとの日」として位置付ける）

月	期日・事柄	教師		地域行事	生徒	
		地区別	ひまわり		地区別	ひまわり
4	職員会提案	<input type="checkbox"/> 生徒に付けたい力の周知 <input type="checkbox"/> 地区しとの打合せ 【各地区担当者】	<input type="checkbox"/> 生徒会との打合せ 【ボラ担当】 <input type="checkbox"/> 運営計画【ボラ】 →地域協議会との打合せ （種まき・定植） <input type="checkbox"/> 種まき準備【特活】	<input type="checkbox"/> 公民館や地域の活動に参加募集があったものを、生徒会発信で参加を働きかける。	<input type="checkbox"/> 地域代表と顔合わせ（公民館長・自治会長） ※公民館長会に中学生委員として参加する【地区し】 生徒総会 27日 <input type="checkbox"/> 現状報告【地区し】	<input type="checkbox"/> 開花までの見通し <input type="checkbox"/> 種まきボラ募集 <input type="checkbox"/> 水やりボラ募集 【生徒会】 <input type="checkbox"/> 昼休み種まき 8~12 <input type="checkbox"/> 水やりボラ ~6/2
	ひまわり種まき 5/9~5/13 学校運営協議会 <input type="checkbox"/> 定植作業参加団体把握 <input type="checkbox"/> 地区ごとの進捗確認【公民館】	<input type="checkbox"/> 地区しとの打合せ【各地区担当者】 計画の進捗について、担当者は把握できるようにしてください。 各地区の報告内容について事前確認してください。	<input type="checkbox"/> 報道関係連絡（定植） （新聞・ケーブル・まるっとやまと）【特活】 <input type="checkbox"/> 人権集会の計画【人権・特活】	<input type="checkbox"/> 現状報告【地区し】	<input type="checkbox"/> 畑の水やりボラ計画 ※クラス単位で畝を割り振り <input type="checkbox"/> 定植作業学級へ周知	

生徒会…生徒会執行部 地区し…地区リーダー

月	期日・事柄	教師		地域行事	生徒	
		地区別	ひまわり		地区別	ひまわり
6	ひまわり定植 5/29～6/2 学校運営協議会 □7月末にチラシを完成 することを確認	□地区しとの打合せ 【各地区担当者】	□定植作業【特活・担任】 □水やり見届け 【学年・担任】		<input type="checkbox"/> 定植作業 <input type="checkbox"/> 学級単位で水やり 【学級委員】 <input type="checkbox"/> 生育状況を放送で報告 <input type="checkbox"/> 玉ねぎ収穫【3年】	
7	ひまわり開花 7/10～7/19 学校運営協議会	□チラシを納品 【ボラ担当】	□報道関係連絡（開花） (新聞・ケーブル・まるっとやまと) 【特活】 ☆学級写真など撮れると 良いですね (3年はアルバム用とか)		Q開花時期に地域と何か 催すか？ ・写真撮影 ・短歌大会 ・地域との交流など	
8	学校運営協議会	□8月中に小学校に周知			<input type="checkbox"/> 7月中に活動単位毎で チラシを作成する ※地区によって活動単位 が異なる →公民館単位 or 自治会単位	
9	学校運営協議会 地区別やまとの日 9/25⇒各地区による	□9月初めの広報誌や 回覧板に折り込む □報道関係連絡（当日） (新聞・ケーブル・まるっとやまと) 【特活】 □当日の準備や動きなど 確認【各地区担当者】 □学校側の参加者把握 (保護者や兄弟など)	□技術の野菜栽培【3年】		<input type="checkbox"/> 夏休み明けに報告 【地区し】 <input type="checkbox"/> 当日の打合せ (体育祭後すぐに) 【各地区】 <input type="checkbox"/> 準備など【各地区】	□技術の野菜栽培【3年】
10		□反省・次年度に向けて			□反省・次年度に向けて	

【地区ごとの検討】
 何をやるか
 どこでやるか
 規模
 準備
 当日の段取り



□7月中に活動単位毎で
チラシを作成する
※地区によって活動単位
が異なる
→公民館単位 or 自治会単位

0. 昨年度の課題

- ・ふざけて種を1つのセルに押し込むいたずら
- ・休日の水やり問題
- ・参加していない生徒へのアプローチ
- ・種の採集ができないか検討

1. 今年度の方向

引き続き、大和中学校そばの休耕田を活用して、ひまわりを育てる。

昨年より1ヶ月程度早期に計画して進める。【下表「R4年度計画参照」】

時期	R3年度の実績	R4年度計画 ⇒R5年度計画
3月		大和地域協議会との打ち合わせ
4月	大和地域協議会との打ち合わせ	24日～5月2日 種まき ～2日 種まき、 22日、23日、29日～31日 畑に定植 (宿泊研修と重なると2学年で実施することになる)
5月		
6月	29日 種まき	水やり
7月	14日 畑に定植 水やり	水やり 3日～14日 開花予定 開花を祝う会(夏休み前に実施)
8月	水やり(剣道部の協力により成立) 下旬 開花	
9月	以降 技術で野菜栽培に活用	以降 技術で野菜栽培に活用

2. 数値資料

作付	畑	ひまわり	野菜(3年技術)
a(アール)	17	15	2

ひまわり	面積	種子	苗数		予備苗数(朝市で栽培)	
	15a	900g	3,500本	35トレ	3,500本	35トレ

支出予測	セル	土	種子	肥料	耕起
	128穴×35トレ	3袋(40l/袋)	5袋(200g/袋)	固型30号×6袋	17a
	154円×35トレ	1,300円×3袋	1,100円×5袋	苦土石灰×8袋	8,000円×1.7
0円	3,900円	0円(大和地域協議会予算)			

3. 各活動についてのイメージ

- ①種まき … 5月8日(月)～12日(金)の週で、昼休みにボランティアを募って実施。
- ②発芽までの水やり … 生徒会発信でボランティアを募って実施。(昨年度は協力者で当番制を敷いた)
- ③定植 … 6月5日(月)～6月9日(金)の週で、⑤⑥時間目を調整し、全校を2分して実施。
- ④定植後の水やり … クラスで担当の畝を区分する。(3年生-4畝ずつ、12年生-3畝ずつ=計20畝)
各クラスで協力者を募り、当番を決めて実施。(生徒会から各学級委員に依頼)

4. 必要な準備物品

- セルトレイ(昨年度購入済 ※要確認) 土3袋+a 水やり用じょうろ(各クラス6つ)
- クラスの目印立て看板(畝の責任所在を明確にする)

大和中学校運営協議会設置規則

(設置)

第1条 本会則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第47条の5及び郡上市立学校における学校運営協議会設置等に関する規則（郡上市教育委員会規則第1号）に基づき、郡上市教育委員会が学校運営協議会を設置する学校として指定した郡上市立大和中学校に設置される郡上市立大和中学校学校運営協議会（以下「本会」という。）について、必要な事項を定めるものとする。（設置年月日：令和3年4月1日）

(名称)

第2条 本会は、大和中学校運営協議会と称し、事務局は大和中学校に置く。

(目的)

第3条 本会は、保護者及び地域住民が学校運営に積極的に参画することにより、学校、保護者及び地域住民が相互に信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善及び生徒の健全育成に取り組むことを目的とする。

(役割)

第4条 協議会の役割は、次のとおりとする。

- (1) 学校の教育目標及び経営方針の承認
- (2) 学校の教育課程の編成に関する基本方針の承認
- (3) 学校の教育活動の充実のため、地域・家庭が学校に支援・協力する内容について協議し、企画・運営する。
- (4) 生徒の健全育成や安全確保のために、学校と家庭・地域が一体となって取り組む内容について協議し、企画・運営すること。
- (5) 校長が必要と認める事項
- (6) その他、第3条の目的に応じて、協議会の発案による事項。

(構成、任期)

第5条 本会は、規則に基づき、郡上市教育委員会が任命した委員で組織する。構成及び任期は次の通りとする。

- ① 委員は、有識者・関係機関の代表及び保護者の中から大和中学校長が推薦する。

P T A 会長 母親副部長

地域代表 地域企業代表 青少年育成推進員会長 自治会代表 公民館長代表
子どもに関わる団体の代表 民生委員代表ほか

委員の任期は1年間とする。ただし、補欠会員の任期は前任者の残任期間とする。

- ② 委員は、再任することができる。

(役員、任務)

第6条 本会には、以下の委員を置き、任務は次の通りとする。

会長 1名 本会を代表し会議を主宰する。会長は委員の互選とする。

副会長 1名 会長を補佐する。会長が欠けた場合は職務を代わりに行う。

校長 会長と協議して会議を招集し、議案を示す。

(会議)

第7条 会議は年3回程度開催する。ただし、必要に応じて意見を聴取することができる。

(守秘義務)

第8条 委員は本会の目的を達成するために、委員として知り得た秘密は厳守しなければならない。委員を退いた後も知り得た秘密は厳守しなければならない。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、校長が提案し、これを定める。

附 則

- ・ この規則は、令和3年4月1日より施行する。

令和4年度 大和中学校運営協議会委員名簿

	氏名	住所	電話	役職	種別	備考	
1	水野 正文	大和町徳永351番地	88-2610	会長	2	(株)大和総合開発社長	継
2	鷺見 和夫	大和町名皿部748番地1	88-1058	副会長	2	大和地域青少年育成推進委員会会長	継
3	白石 克之	大和町徳永516番地	88-4331 090-7025-9554		3	R3大和地域自治会長会副会長	継
4	木島 清	大和町島5932番地1	88-3304		3	大和公民館西公民館長	継
5	森下 伊浩	大和町名皿部483番地	88-3413		2	民生委員	継
6	大坪 基起	大和町神路1606番地	88-3138		3	旬彩館やまと朝市支配人	継
7	高橋ゆき江	大和町剣1429番地3	090-7694- 1417		2	NPOコシス郡上	継
8	島崎 秀樹	大和町徳永699番地8	88-3812		1	大和中PTA会長	継
9	吉田加奈江	大和町徳永253番地	88-3277		1	大和中PTA母親部副部長	新
10	福手 真	大和町剣100(大和中)	88-2039		4	大和中校長	新
11	武藤 大輔	大和町剣100(大和中)	88-2039	庶務	5	大和中教頭	新
12	清水 啓太	大和町剣100(大和中)	88-2039		5	大和中職員(ボランティア担当)	継
13						R4大和地域自治会長会代表	新
14							
15							

